

2018年度 第1回 6月 九大本番レベル模試

日本史・採点基準 記述・記号部分

〔1〕 伽藍配置の変遷 (2点×7=14点)

*注意事項・許容解など

問3 別解なし。(空欄補充問題)

「天王寺」は非加點。(「天王寺式」とよばれる伽藍配置の呼稱は存在しない)

〔2〕 中世の政治・文化 (2点×7=14点)

*注意事項・許容解など

特になし。

〔3〕 江戸幕府の貿易統制・『政談』 (2点×7=14点)

*注意事項・許容解など

特になし。

〔4〕 近代の銀行 (2点×7=12点)

*注意事項・許容解など

特になし。

論述部分

◆添削記号◆

九大本番レベル模試・日本史の採点では、次のような添削記号を用いています。

- | | |
|-----------------------------|-------------|
| 1. <□□□□> | 加点要素 |
| 2. □□□□
<u>~~~~~</u> | 表現に難あり |
| 3. □□ [∨] □□ | 文要素の欠落／脱字 |
| 4. □□ ^x □□ | 誤字（略字を含む） |
| 5. <u>□□□□</u> ^x | 内容に誤りあり |
| 6. 「□□□□」 | 設問要求に答えていない |

◆共通の基準◆

- 採点基準においては加点要素を、**3点**のものは太字・アミカケ□□で、**2点**のものは二重線□□で、**1点**のものは下線□□で、それぞれ示している。採点に際しては常に前後の文脈に留意する（◎で示した事項、（ ）内に示した事項に内容が反していないかを確認する。許容する事例や例外的対応などについては※で示してある）。
- 加点要素の要件を一部しか満たしていない箇所については、それぞれの配点未満の得点を与える。（太字・アミカケ□□→**2点**以内，二重線□□→**1点**，下線□□→**0点**）
- 歴史用語**（赤字で表示）についての誤字、当て字、漢字で記すべき語句のひらがな・カタカナ表記は、それが加点要素に直接関係する場合、**1点減点**。同一語句・文字がくりかえし誤っている場合は、それぞれを減点の対象とするのではなく、まとめて**1点減点**とする。加点要素とは直接関係しない箇所に誤字・当て字があった場合、減点しない。
- 欄外に設問記号を記した答案や、句読点のはみだしなど字数がわずかに超過している答案は、本番では無効答案になる可能性もある。しかし、受験生の学力を正確に測定するという観点から、あまりにも明白に指定条件を無視している場合を除き、採点の対象とする。
- 設問によっては加点要素の合計が配点を超過している場合がある。ただし、各問とも配点を満点としてこれを超える得点は与えない。

〔 1 〕 伽藍配置の変遷（論述部分）

問4 法隆寺についての論争

◆加点要素の合計6点→5点満点◆

◎法隆寺

- a 『日本書紀』に焼失した記事がある…………… 2点以内
 - b (現存建造物について)再建・非再建論争があるが再建説が有力である…………… 2点以内
 - c 創建時の若草伽藍跡が発見された…………… 2点以内
- ※「創建時の伽藍跡が発見された」「若草伽藍跡が発見された」は1点

問7 『方丈記』の記述

◆加点要素の合計6点→6点満点◆

◎平安京

- a 嵯峨天皇ではなく桓武天皇が遷都した…………… 2点以内

◎『方丈記』の著者

- b 鴨長明…………… 2点以内
- c (平安京が都に定まった時期を)平城太上天皇の変〔薬子の变〕の後ととらえた…………… 2点以内

〔2〕 中世の政治・文化（論述部分）

問5 『神皇正統記』の記述

◆加点要素の合計7点→7点満点◆

◎『神皇正統記』の筆者

- a 北畠親房 …………… 1点以内
- b 執権の北条義時は善政を行っていたとした …………… 3点以内
※「北条義時は善政を行っていたとした」は2点
※「執権の北条義時」など北条義時が執権に地位にあったことの指摘は1点
- c 承久の乱をおこした後鳥羽上皇は間違っているととした …………… 3点以内
※「後鳥羽上皇は間違っているととした」は2点
※「（「上」が）承久の乱を起こしたことは間違っているととした」「後鳥羽上皇を（評価対象として）とりあげた」は1点

問7 足利義満による守護勢力の削減

◆加点要素の合計5点→4点満点◆

◎足利義満

- a 土岐康行の乱に勝利した …………… 1点以内
- b 明德の乱で山名氏清に勝利した …………… 2点以内
※「明德の乱に勝利した」は1点
※「山名氏清に勝利した」だけでは非加点
- c 応永の乱で大内義弘に勝利した …………… 2点以内
※「応永の乱に勝利した」は1点
※「大内義弘に勝利した」だけでは非加点

〔3〕 江戸幕府の貿易統制・『政談』（論述部分）

問3 九州で発生した戦乱と寛永十六年令

◆加点要素の合計4点→4点満点◆

◎江戸幕府

- a 益田時貞〔天草四郎時貞〕を首領として発生した島原の乱〔島原・天草一揆〕を鎮圧した …… 2点以内
- b ポルトガル船の来航を禁止した …… 2点以内

問5 江戸詰を短縮した措置

◆加点要素の合計8点→7点満点◆

◎大名の江戸詰を短縮する措置

- a (大名の) 在府〔江戸滞在期間〕を半減した …… 2点以内
※「参勤交代を軽減した」は1点
- b 上げ米 …… 2点以内
- c 徳川吉宗が(幕府の) 財政のために行った …… 2点以内
※「徳川吉宗のもとで行った」は1点
- d (大名から石高) 1万石につき 100石の米を徴収した …… 2点以内

〔4〕 近代の銀行（論述部分）

問3 国立銀行と国立銀行券

◆加點要素の合計8点→6点満点◆

◎1876年の政府措置

- a 国立銀行条例の改正 …………… 2点以内
- b 国立銀行券の兌換義務の撤廃／国立銀行券の兌換をとりやめた …………… 2点以内
- c 国立銀行の増加〔新設〕をもたらした …………… 1点以内
- d 不換銀行券〔不換紙幣〕の増発をもたらした …………… 1点以内
- e インフレ〔物価上昇／物価高〕をもたらした …………… 2点以内

問7 デモクラシーの語

◆加點要素の合計5点→5点満点◆

◎デモクラシーの語に関する主張

- a 吉野作造による …………… 2点以内
 - b 民本主義と民主主義を区別すること …………… 3点以内
- ※「民本主義と訳すること」は2点